

10年に及ぶ研究開発を経て躍進を始めた賽亞基因

賽亞基因科技股份有限公司は陳奕雄博士によって2001年に設立された。遺伝子研究を主要事業とし、400万件以上のSNPデータ(Single Nucleotide Polymorphism:一塩基多型)を保有している。近年は、研究成果の商業化にも積極的に取り組み、各種疾患向けの検査サービス等を展開しており、台湾における予防医学の発展を支えている。今回は謝春成総経理を訪ね、当社の経営方針や今後の事業展望についてお話を伺った。



賽亞基因科技(股)有限公司 謝春成総経理

一ヒト遺伝子解析の先駆者として事業チャンスを拡大

1990年代、米国政府はヒトゲノム解析プロジェクトを推進していました。10年の歳月及び30億米ドルを費やし、世界1,100名の最先端のバイオ化学の専門家を動員し遺伝子の解析レースを展開していました。ところが意外にも、最初に遺伝子を解読したのは米国の民間企業であるセラ・ジェノミクス社(以下セラ社)でした。セラ社は、2000年4月にヒトゲノム解読に成功しました。当時、当社の設立者である陳奕雄博士がセラ社の首席サイエンティストを務めていたこともあり、陳博士は世界的に「遺伝子配列の父」と呼ばれるようになり、当社は遺伝子解析における優先的な事業機会に恵まれました。

陳奕雄博士は長年米国にて遺伝子研究に従事していましたが、自身の研究成果をもって華人のバイオ化学産業に少しでも貢献したいとの思いから、2001年3月に当社を設立しました。台湾における遺伝子研究を牽引し、世界に向けて台湾のバイオ産業をアピールできる企業となることを目指しています。

一惜しめない研究開発への投資で、アジア人に特化したSNPデータベースを構築

当社は陳奕雄博士を中心に多くのバイオ化学の専門家とのネットワークがあり、またセラ社での経歴も手伝い、セラ社のSNPデータベースの使用権の獲得に成功しました。これにより、国内他社と比較して更に有利な環境で事業を進めることができるようになりました。

この他、当社は米国の国立生物工学情報センター(NCBI)や国際SNPコンソーシアム(TSC)、日本人に特化したSNPデータベースを整合し、400万件以上に上るSNPデータベースを完成させています。また70万件以上のアジア人に特有のSNP情報を比較し、世界初となるアジア人に特化したSNPデータベースを構築しています。

当社は早期にこうしたSNPデータベースの整備に10億元以上の資金を投入しています。バイオ化学事業には“資金がすぐに底をつくことを恐れては成り立たない”という言い回しがありますが、当社のように初期段階でこれだけの資金を研究開発に投入している企業は実際に多くありません。更に、世界のデータベースの情報や学術論文を網羅するよう、データベースの更新を毎週行っており、当社の遺伝子検査事業の発展を支える大きな強みとなっています。

一明確な事業プランの策定により収益を確保

当社の発展過程を振り返ると、これまでは主に研究開発に注力していましたが、明確な事業経営計画を持ちあわせていませんでした。しかし、それにより当社経営状況が芳しくなってきたこともあり、陳奕雄博士に誘われ、私が当社の経営チームの一員となりました。私が当社に加わり、それまで不明瞭であった事業経営計画を明確に打ち出すことで、ようやくビジネスが採算ベースに乗り始め、2014年に初めて収益を上げることができました。

当社の事業は主に、検査事業、sCRO事業、商業用遺伝子

台湾トップ企業

検査事業の3つに分類できます。検査事業は、当社の主要事業であり、売上高の60%を占め、その応用範囲は多岐に渡ります。私が経営に関与するようになってから、当社自身を「遺伝子検査企業」とするポジショニング戦略を進めていますが、その過程で次世代シーケンシング(NGS)企業及び台湾内8ヶ所の検査機関を買収しました。更に、台湾内の学術型入札案件や国家レベルの研究案件にも積極的に参加しており、台湾のバイオ産業との関係を緊密にしながらかつ遺伝子検査の応用研究を推進し、安定した収入源を確保しています。

次に、sCRO(Contract Research Organization、頭文字の「s」はspecialtyの意味で、当社独自の言い方)事業では2013年より世界的医薬メーカーからの臨床開発委託案件に積極的に取り組んでいます。現在、世界の製薬メーカー上位10社に名前が挙がる企業は全て当社の顧客であり、新薬開発及びコンパニオン診断(Companion Test)などの分野で世界の製薬メーカーとのサプライチェーンを構築し、当社の商品価値やブランド力を引き上げています。

商業用遺伝子検査事業においては、個別化医療(Precision Medicine)サービスの推進に注力しています。現在、200種類以上の遺伝子検査商品を開発しており、主に美容用、予防用、個人用、がん検査用及びカスタマイズキットの5種類があります。中でも個人向けのマイクロチップは当社の代表的な商品です。40種の疾患検査が可能であり、特に国内及び中国の富裕層からの信頼を獲得しています。また現在こうした当社の遺伝子検査事業は国内の医学センターとの緊密な連携により、自費対応のハイエンド人間ドックを通して製品認識度が上昇してきています。

海外市場を見据えた長期的な連携関係を模索

当社の事業はまだ台湾内で始動したばかりであり、台湾内でのシェアの獲得を当面の目標としています。そして、「遺伝子検査と言えば賽亞基因」というイメージを定着させていきたいと考えています。遺伝子検査は世界のバイオ市場の中でも特に先端領域に属しているため、当社との事業連携を希望する世界各地の企業からの接触が数多くあり、当社としてもグローバル市場の開拓に積極的な姿勢です。

特に当社の強みはアジア系人種に特化したSNPデータベースであるため、海外市場の開拓についてもアジア市場を選択する傾向にあります。更に、当地の医療環境の発展等から見て、日本の成熟した医療市場には非常に興味があり、長期的な事業連携等により、補完関係が成立するような対象を見つけたいと考えています。商品や販売チャネル、市場等あらゆる面における相互補完を希望しており、双方のウィンウィン関係を構築しながら引き続き世界のバイオ市場に貢献し、信頼を獲得していきたいと思ひます。

ありがとうございました

賽亞基因科技(股)有限公司の基本データ

会社名	賽亞基因科技股份有限公司
董事長	陳奕雄
設立	2001年
資本金	15億元
従業員数	127名
事業内容	ヒト遺伝子の検査サービス

注)2016年10月時点のデータによる
出所)公開資料及びヒアリングよりNRI整理